

AEDを使った救急救命法を学ぶ  
柿木中の3年生たち



吉賀町の全4中学校  
を対象に、自動体外式  
除細動器（AED）を  
使った救急救命講座が  
2日、始まった。六日  
市病院（同町）の医師  
や看護師らでつくるN  
PO法人六日市ECC  
協会が24日まで計7  
回、講座を開く。  
初日は柿木中3年生  
と教員計15人が町柿木

## AED 操作ばっちり

吉賀 中学校向け講座開始

防災センターで受講。同病院の谷浦博之院長や救急救命士たち計9人から指導を受けた。図書館で子どもが倒れているなどの想定。胸骨圧迫や人工呼吸など心肺蘇生法の基本に加え、AEDの操作手順を学んだ。工藤希さん（14）は「もし倒れている人がいたら進んで助けられるようになりたい」と話していた。同協会は若いうちから救命法を習得してもらうため、町教委と協力して2013年度から全中学校対象の講座に取り組む。受講者には国際認定証を渡しており、ことは1、3年生と教員計約100人に指導する。

（江川裕介）